

YCU Student Award 2025

募集要項

【学術研究分野】／【課外活動・社会活動分野】

1 対象者・対象期間

(1) 対象者

本学の学生（学部生、大学院生）個人または、これらの学生が所属する団体

* 団体での応募の場合、団体の構成員の 2 分の 1 以上が本学の学生であることを条件とします。

ただし、他大学生等を含む場合には、功績に対する本学の学生の貢献度を評価するものとします。

* 過去に受賞歴があっても選考の対象としますが、前年の被顕彰者は、前年度の行為を上回る者に限ります。

(2) 対象期間

2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

* 上記期間外で行われた活動の功績については選考の対象外となります。

2 対象分野

さまざまな分野の優れた功績が対象となりますが、選考は次の分野に分けて行います。

学術研究分野：学会での受賞、学術誌への掲載等

課外活動・社会活動分野：スポーツ・文化・芸術・社会活動・地域貢献活動等の功績

3 選考方法

学生生活保健協議会にて応募内容を厳正に審査し、決定します。

4 顕彰

* 表彰の詳細については、別途、受賞者へ連絡します。

YCU Student Award：「学術研究」及び「課外活動・社会活動」各分野に授与されます。

* 受賞者には本学より表彰状が授与されます。副賞は、横浜市立大学後援会のご協力により、当該年度の受賞者数に応じて授与されます。

(※これまで設けていた YCU Best Student Award は 2025 年度より廃止します。)

5 必要書類

【推薦書類様式掲載ページ】

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/campuslife/StudentsYear/studentawardguidance.html>



	① 学術研究	② 課外活動・社会活動
推薦者要件	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員（客員教員¹可）が進言した上で、<u>学部長又は研究科長が推薦してください。</u> ・推薦者（学部長又は研究科長）は、指導教員が作成する推薦書の推薦理由を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦者は、本学の学生（自薦も可）又は教職員とします。 ただし、活動分野等の特性上これによりがたい場合は、その他の者²によることも可とします。
推薦書類	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦書（指定書式） ・証明資料（賞状、新聞記事等） <p>※証明添付資料（賞状・新聞記事等の写し）について、 資料タイトルには推薦書と同じ一連番号（A～C）を冒頭に付けてください。 「A_〇〇〇〇優勝賞状」等 ※各書類は、原則 A4 判に統一してください。</p>	
推薦（提出）期限	<p align="center">2026 年 1 月 8 日 17：00（必着）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この提出期限を過ぎたものは、受理されません。なお、推薦書類に不備があり再提出を要する場合でも、この提出期限は延長されませんので、<u>締切直前の提出はできる限りお避け下さい。</u> 	
提出先	<p align="center">金沢八景キャンパス 学生支援課学生担当 gakusei@yokohama-cu.ac.jp *提出された書類は一切返却できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件名は必ず「YCU Student Award 2025 申請」としてください。 ・提出資料は Zip フォルダ等に纏めて提出してください。その際、フォルダ名を「YCUSA2025_候補者氏名または団体名」としてください。 ・Zip フォルダの PW は「YCUSA2025」としてください。推薦書のエクセルには設定不要です。 	
提出時の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦書（指定書式）の欄について、サイズは変更せず、所定枠内に収めて記入してください。 ・推薦書（指定書式）中の緑色のセルについては、全て記入することが必須です。未記入の項目がある場合は不備として受理できない可能性があります。 ・功績の証明資料は P D F ファイルを基本としますが、順位や概要など <u>W E B サイトで閲覧可能な内容（掲示類）については、推薦書に U R L を記載することでも可とします。</u> ・必ず YCU メール³から提出するようにしてください。（それ以外のメールアドレスは、受信時、システムで保留される可能性があります。） 	

¹ 連携大学院の客員教員を指す ² コーチ、監督、財団等を想定

³ ドメインが「@yokohama-cu.ac.jp」の電子メールを 4 「YCU メール」という。本学では業務（学生においては、本課程の教育活動にかかわる内容を取り扱う場合）におけるフリーメールアドレスを原則禁止としています。

6 留意事項

【共通】

- (1) あらかじめ「**推薦基準**」を十分確認してください。
- (2) 受賞者の所属・氏名(団体名)については、原則、公表されますので、誤記等のないよう注意してください。なお、氏名等につき非公表を希望する場合は、その旨を予め申告してください。
- (3) 推薦に際しては、下掲「8 授与式について」にもご留意ください。



【学術研究分野】

- (1) **学部長または研究科長による推薦に限られ**、その他の教職員・学生等による推薦は受理されませんので注意してください。
- (2) 推薦書 2 ページ目の功績証明等の資料の記載については**候補者が学会（団体）の規模を各自で調べて記載**してください。また、「功績のアピールポイント・今後の目標等」には候補者が、研究内容の説明に加え、その研究成果が世間や本学に与える影響等についても説明してください。
- (3) 推薦書 2 ページ目下段の「指導教員（関係教員）用の候補者推薦補足等」の自由記述欄については、候補者の指導教員やそれに準ずる関係教員が候補者についての補足となる情報があれば記入してください。

【課外活動・社会活動分野】

- (1) 推薦書 2 ページ目の「功績のアピールポイント・今後の目標等」には候補者が、専門外の者にも分かるように、競技人口の少ないスポーツは競技内容や、芸術作品であれば、作品の評価のポイントについても説明してください。

7 受賞者の発表

受賞者への通知は 2026 年 3 月上旬頃を予定しております。推薦書記載の受賞者（団体の場合は代表者）のメールアドレスに別途、授与式詳細について連絡します。

8 授与式について

受賞決定後は授与式まで短期間でのスケジュールとなりますので、予定の確保をお願いします。

○2026 年 **3 月 18 日（水）** 16：00～（予定）

於 **金沢八景キャンパス YCU スクエア 2 階（Y204）**



【問合せ先】金沢八景キャンパス 学生担当（YCU スクエア 1 階）

E-mail：gakusei@yokohama-cu.ac.jp TEL：045-787-2037

窓口：8 時 45 分～17 時（土日祝日を除く）＊授業期間外は 15 時まで

12 月 29 日（月）～1 月 4 日（日）は年末年始休業です。余裕を持って問い合わせてください。

YCU Student Award 2025

募集要項【推薦基準】

分野	部門	基準
学術研究	A 大学院生の部	<p>A 成果をもとに選考・判断</p> <p>国際的又は全国的規模の学会での受賞、又はそれに準じた業績、同規模の学術誌への掲載又はそれに準じた業績により、高い評価を受けた個人又は団体</p>
	B 学部生の部	<p>B 成果をもとに選考・判断</p> <p>学会での受賞、権威のある学術誌への掲載、又は全国規模での発表により、高い評価を受けた個人又は団体</p>
	C 大学院生、学部生共同の部	<p>C 成果をもとに選考・判断</p> <p>国際的又は全国的規模の学会での受賞又はそれに準じた業績、同規模の学術誌への掲載又はそれに準じた業績により、高い評価を受けた団体</p>
課外活動・社会活動	A スポーツ・文化・芸術の部	<p>A 成果をもとに選考・判断</p> <p>①国際的又は全国的規模の競技会、演奏会、展覧会等に出場、出演又は出展し、優れた成績を収めた、又は一定の評価を受けた個人又は団体</p> <p>②関甲信大学体育大会において第3位以上、又はそれに準ずる成績を収めた個人又は団体</p>
	B 地域貢献・社会活動の部	<p>B 取組内容や過程（継続しているか否か）等、取組実績をもとに選考・判断</p> <p>③地域振興、環境保全、社会福祉、青少年育成、国際交流等のボランティア活動等、地域貢献活動や社会貢献活動において公的機関等から表彰を受ける、又は複数のメディアへの掲載等により、高い評価を受けた個人又は団体</p> <p>④人命救助、災害救助、犯罪防止等に貢献したことにより、公的機関等から表彰を受ける等、社会的に特に高い評価を受けた個人又は団体</p> <p>⑤大学発ベンチャー等、大学在学中の起業により大学及び社会に貢献し、公的機関等から表彰を受ける、又は複数のメディアへの掲載等により、高い評価を受けた個人又は団体</p>
	C その他の部 ※大学院生、学部生共通	<p>C 活動内容により、成果もしくは取組内容で選考・判断</p> <p>上記の部門と異なる分野で、同等以上の活躍や公的機関等から高い評価を受けた個人または団体</p>